

令和6年度第4回豊田市男女共同参画推進懇話会会議録

- **日時** 令和7年2月5日（水）午後2時00分～3時30分
- **場所** とよた男女共同参画センター 21会議室
- **出席者** 懇話会委員 石田 路子（座長）、吉野 まり子（副座長）
尾原 洋子、金原 良平、加藤 吏、石田 祐己、
本林 初代、安田 亜弥子

事務局 生涯活躍部 副部長 曾我、市民活躍支援課長 小澤
とよた男女共同参画センター 伊藤、村上、吉本

- **欠席者** 杉浦 貴代、照屋 恵美

1 開会

曾我副部長挨拶

2 議事

（1）（仮称）クローバープランV（第5次とよた男女共同参画プラン）（素案）の意見募集結果について

事務局が資料に基づき説明。

<意見>

A 委員

主な取組のうち「多様な性に対する理解促進事業の実施」では、包括的性教育の視点も入れて子どもに関わる大人への啓発を入れているのはよい。一方で、相談窓口などで相談した場合、相談機関同士がどのように進めていくのかを検討する必要があり、男女共同参画センターで主導してほしい。

（2）（仮称）クローバープランVについて

A 委員

人権に対する理解が深まるよう市民活動団体と連携した啓発を進めていくと思うが、世界や国内の動向が刻々と変化しているので、さらなる施策や取組が必要となった場合は柔軟に対応してほしい。

- B 委員 女性が活躍するためには乗り越えるハードルがたくさんある。女性は男性と違い、家を出る前からやることがたくさんある。家事や子どもの世話などを主体的にやっている男性がどれぐらいいるのかと思う。女性活躍という名目だが、男女がともに豊かに暮らしていくためには仕事も家事・育児もそれぞれが主体的に行う必要があり、社会としての風潮が必要。また、いざ育休をとったときのスキルを上げることも大切だが、そもそもなぜそれが必要なのかという啓発をしていくことも大切だと思う。
- C 委員 所属する会社でもフレックスタイム、時短勤務や育休など様々な制度が設けられてはいるが、実際に利用しやすい風土があるかと言われると、微妙だと思う。上司だけでなく周りの理解が必要で、男性が気づいていないやるべきこともたくさんあると思う。行動を変えるためには意識を変えていく必要がある。仮に一人がセミナーに行ったとしても職場に戻れば忘れてしまうので、啓発ビデオや動画などを職場の複数人で見て意見交換をするなど、周りの人の家庭に配慮することにつながる取組をやっていければいいと思う。ビデオ教材などの共有をお願いしたい。
- D 委員 教材はすでにあると思うので、情報提供をしていく必要がある。
- E 委員 上司の意識が特に必要だと思う。「女性“も”リーダーになれる」としてしまうと、現在の「リーダー像」を想像してしまう。時短勤務をしながらリーダーになるなど、様々な働き方のリーダーがいてよいということを伝える必要がある。これからは、勤務形態などが違って、能力があればリーダーになれるという社会にしていかなければいけないと思う。
- F 委員 時短勤務や育休など、制度としては整ってきているが、学校現場は正規職員が少ないため、時短勤務や育休などを取りづらい状況があり、人員補充などのフォローが必要である。包括的性教育やジェンダー平等推進など、様々な取組をする団体が増えてきてとてもよい。PTAなどの活動については、依然として母親が担っていることが多く、それが負担で子どもに関する地域活動から抜けていく人も多い。子どもたちは親の姿を見ているので、父親が参加する姿を多く見せていくことで、子どもたちの意識が変わっていくと思う。
- G 委員 安心して働ける環境づくりをしてほしい。子どもが熱を出したらすぐに迎えに行かなければならないが、仕事にも戻らざるを得ず、子どもが一人になってしまうケースがあると聞く。病児保育など、女性が安心して働ける仕組みがもっと充実するとよい。

H 委員	<p>国の男女共同参画局の英語表記は「gender equality」となっている。大学生から男女共同参画とはどういうことかと聞かれたことがあるが、ジェンダーという言葉の認知度が上がってきている。1999年に男女共同参画社会基本法が制定されてから25年が経ち、当初は埋もれていた声が実際に聞こえる段階まできている。ここからさらに25年かかるかもしれないが、社会を変えていくために歩みを止めないようにしなければならない。</p>
A 委員	<p>プランの指標になっている「LGBTQ+(性的マイノリティ)にとって、偏見や差別等により生活しづらい社会だと「思わない」と回答した人の割合」という市民意識調査の設問は肯定的な表現にした方がよいと思うが可能か。</p>
事務局	<p>経年比較をとるためには変更しない方がよいと思われるが、次回の市民意識調査の際に検討する。</p>

クローバープランV事務局案について承認

3 閉会